

たんぽぽ

2016. 4. 6.

入学進級おめでとうございます

例年よりも桜を楽しめる期間が長い今年の春は、今もあちこちで桜が満開です。4/6には平成28年度の始業式が北里学級の教室で行われ、入院中の子どもたちにも春がやってきました。

病気やけがで入院している子どもたちは、新しい学年になっても学校へ行くことができません。せめて北里学級で始業式をおこない、新しい学年へスタートしてほしい、そんな願いでささやかな始業式を行いました。始業式に駆けつけて入院中の子どもたちを励ましてくれたのは、北里学級を設置している小中学校の校長先生や相模原市教育委員会の方、病院からは小児病棟の先生や看護師さんたちで、参加した子どもたちからも新しい学年に向かっての決意が述べられました。

「病院にも学校があったんだ！」そんなふうに思ってもらえる北里学級を、今年も目指していきたいと考えています。



北里学級ってどんなところ？

入院中の子どもたちは学校へ行くことが出来ず「仲間と共に学ぶ」という大切な機会から遠ざかっています。そんな子どもたちにも、学校教育を継続的に実施していこうという理念に基づき、北里大学病院と相模原市教育委員会の協力により1974年に市内唯一の院内学級として開設されました。(今年で43年目)

市内の小中学校から専任の教諭が派遣され、月～金の毎日授業をおこなっています。また、病室から出ることが出来ない子どもたちのために、教員がベッドサイドを訪問して授業をおこなうこともあります。医療チームとも連携して、子どもたちやご家族の笑顔を取り戻すために、心を支えることを大切にしています。

北里学級の授業は

- 入院している子どもたちが、学習の空白を作らないように在籍する学校と連携して教科書やワークブックを使って学校の授業と同じように学習を進めています。
- 4教科(中学部は5教科)の勉強だけでなく、図工、音楽、家庭などを織り交ぜながら、子どもの興味関心を高める工夫をしています。
- 入院中の不安に寄り添い、一人一人の心の支えとなるようなコミュニケーションを心がけています。
- 保護者の方ともコミュニケーションをはかり、一人一人にとってどんな指導をしていけばいいのか考えます。

設置している学校

小学部：相模原市立双葉小学校(教員2名交代勤務)

中学部：相模原市立麻溝台中学校(教員1名)

ありがとう神山先生、よろしく八里先生

4/1より、小学部教員の移動があり、神山奈奈代教諭に替わって八里優教諭が着任いたしました。これまで同様よろしくお願いいたします。

今年で北里学級3年目になります。みんなとトランプや双六で遊びましょう。
(小学部 菅井 久子)

二本松小から来ました。どんな子たちが来てくれるか楽しみです。楽しい授業をやりましょう。
(小学部 八里 優)

学校や友だちから離れるさびしさを、前向きな気持ちに変えていきましょう。入院中に苦手教科を得意教科にしてしまおう！
(中学部 上江 健一)

